

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（店 長）	単価の動き	・一人当たりの買上点数が確実に伸びている。また、 同じような機能を持つ商品だと高単価の商品が売れる ようになっている。
	やや良く なっている	百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・雨が多かったが、梅雨対応の防水シューズが売れた ため、売上を前年並み程度に維持できた。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・来客数については、前年比100%という状況が続い ている。ただし、販売点数、客単価がいずれも前年比 104～105%と上昇している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・6月は天候にも恵まれ、来客数が前年比105%で推 移している。競合店の閉店の影響も若干あるかもしれ ないが、明るい状況で推移している。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・3か月前の前年比で比べると、売上高で3%の増加 があり、気温が高めの時と晴れた時には瞬発的に売上 が伸びた。客単価は低下したものの来客数が前年比で 2%増加したため、売上高は増加した。悪い中でも微 光が射して来た。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・今月に入ってから、来客数が先月に比べ約5%増加 している。駐車禁止の取り締まりが厳しくなり、駐車 場のないコンビニや店の客が当店に流れているのでは ないか。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・気温が低いせいか売上は順調に伸びている。量販 チェーンによっているいるだが、競合他社とのパイの 奪い合いの中で伸びているといった状況である。コン ビニエンスストアでも3月ごろと比較して自社店舗が 3～4件増えているのでその分が寄与している。
		乗用車販売店 （統括）	お客様の様子	・車ということに限らず、客から旅行や買物など比較 的大きな消費の話聞くようになった。
		一般レストラン （店長）	それ以外	・増収増益が続いている。今月決算だが前年を大きく 上回る結果となった。
		その他飲食〔ハ ンバーガー〕 （経営者）	単価の動き	・一部価格の値上げを行ったが、来客数は減少するこ となく客単価は前年比で二けた伸びている。6月とし ては最高に近い売上となった。
		観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・昼夜の会議、懇親会等が3か月前よりやや多くなっ ている。来客数、単価等を見ても景気の上向きが感じ られる。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客数が前年比で10%増加している。ビジネス客 が微増している。
		都市型ホテル （総務担当）	単価の動き	・一般宴会においては、利用客単価及び、宿泊におい ても客室平均単価が若干ではあるものの上昇しており、 総じて景気は上向いているのではないかと。しかしな がら、まだまだ不安定要素はあり、経済情勢等動向 には注視が必要である。
		旅行代理店（経 営者）	単価の動き	・売上は前年比を上回っていて、客の動きは好転して いる。ただし競争激化のために単価が低下し、利益率 も低下している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・今月は、利用件数、客単価ともに少しではあるが上 昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・天候不順もあり客の利用は増加し、売上も良い方向 に進んでいる。
		通信会社（販売 企画担当）	販売量の動き	・新商品の投入により、市場が活性化している。
美容室（経営 者）	単価の動き	・新メニューは単価が高いにもかかわらず、売上が好 調に推移している。		
変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・昨年の今ごろと比較しても、特に人通りや来街者数 が増えているように見えない。	
	商店街（代表 者）	販売量の動き	・来客数、販売量ともに従来より減少している。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・ブランドの子供服に対して、客は良い商品と認識は するが、すぐに購入には至らない。最近はバーゲン セール待ち、セールの下見という客が多く見受けられ るなど、いかに付加価値の高い商品をいかに安価に購 入するかという傾向が顕著である。	

一般小売店 〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・相変わらず一般消費者の財布は厳しい。良い商品を購入する客は早く販売が決定するが、予算を重視する客はなかなか購入には至らない。
一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・最近来客数の動きが少ないように感じられる。また、会社法の改正により、一部有限会社が株式会社になったり、合同会社になったりする事ともなう注文があったが、わずかであった。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・盛夏物時期を前に盛夏物の早期値下げを実施したが、あまり手ごたえがない。クリアランスセールが立ち上がる時期に多くのブランドの中から選びたいのか、気温が低いせいなのか不明である。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・売上高は前年並みであるが、来客数がやや減少している。目的買いの客は変わらないが、一般的な買物客は減少している。前年と比べると、梅雨の影響で客足が伸びないのかもしれない。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・通常営業日が厳しい。招待会や値引きが絡むとそこそこの売上はとれる。また天候不順でレイングッズは好調だが、他アイテムは軒並みダウン傾向にある。
スーパー（店長）	単価の動き	・1人当たりの買上点数も依然変化もなく、また特売時の売上比率も以前に比べると高くなっているようである。やはり目玉商品を求めての客が少しずつ増加している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・今月は雨の日が多く前年比で来客数が大幅に減少した。ただし客単価は大幅に上昇する傾向は続いている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・競合の厳しさもあり、単価を下げても販売数量が伸びない。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・天候不順のせいか、普段は野菜を買わない農家の客も購入し、販売量が増加している。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・価格競争が激しく、一点単価が低下して客単価が上昇しない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・全体的に人の動きが鈍くなったように思われる。特に車の通行量が減少しているため来客数が伸びない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・気候のせいか来客数が減少している。客の購買意欲も薄れている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・気温が上昇し、ようやく初夏物の動きが良くなりだした。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・暑い日が続けば夏物を求める客が多いのだが、今月は週末に雨が降るケースが多く来客数が減少している。ただし客単価が上昇して何とか昨年を維持している。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・当社だけでなく、地域の大型店・商店街も前年の売上高を維持するのがやっとの状況が続いている。国内の景気は回復傾向にあるようだが、中小都市では消費者が車で1時間かけても中心都市の大型商業集積地域に買物に行く傾向が強まっている。
家電量販店（店長）	単価の動き	・これといって伸びた商品もなく、各商品共に前年並みである。テレビは薄型商品が若干伸びているが、単価が低下している。
家電量販店（店長）	単価の動き	・サッカーワールドカップの需要も終わり、テレビ、DVD関連機器が頭打ち状態である。季節的にはエアコンの時期だが、気温の上昇が伴わないため悪い。
その他小売（営業担当）	単価の動き	・来客数も若干増加したが、それ以上に客単価の上昇傾向が実感される。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が月によってかなり変動があり、安定していない状況である。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・近所の映画館がすべて閉館し撤退してしまい、郊外の大型施設に客も取られ、夜の人通りが全く見当たらない。また居酒屋も、全国チェーンの店は良いが、地元の店は客も減少し利益率が低下している。
観光型ホテル（経理総務担当）	お客様の様子	・梅雨時期に入ったこともあり来客数も春先に比べて減少している。客単価も変わらない。
都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・レストラン来客数が、横ばいの状態である。

	タクシー運転手	単価の動き	・今月はサッカーワールドカップもあり、夜の客の動きが非常に悪く、客単価が低下する傾向にある。中・遠距離の客が増加すれば単価も上昇するのだが、自宅から病院といったような動きが多く、距離、単価ともに低下している。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入契約者数が低迷したままであり、客の反応も厳しいままである。
	テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・価格競争力がないので、団体旅行は減少しつつづけている。個人客は空梅雨の影響か、昨年よりも少し増加している。
	テーマパーク（業務担当）	競争相手の様子	・引き続き近隣の観光施設オープンの影響は大きく、ただし期待していた相乗効果は全く得られず、景気はあまり良くないまま推移している。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・同業者との話の中でも、新規出店が増えて来客数が減少しているという声が多い。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・購買動向が鈍い。ただし無理をしない範囲での反応はあるので様子見といった状態である。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・仕事量はやや上向きつつあるかなという状況だが、まだ絶対量、価格量、価格転嫁等を考えると本当に上向いているとは言いづらい。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・同業者に最近の仕事状況を聞いてみるが、受注件数が少ないまま横ばい状況にあるといった発言が多い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売受注は数量的には多少上向きであるが、一件当たりの金額は減少してきており、販売受注額としては、ほぼ横ばい状態にある。
	住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・モデルルームへの来場者数が5月と比較して1割程度減少しており、契約数も目標に届いていない。
やや悪くなっている	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・全体的に販売量が減少している。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・5月6月の天候不順もあり、婦人服中心に柱のファッション部門が総じて苦戦傾向にある。来店客も単品購買傾向が強まり、客単価も減少しており、セールの問い合わせも例年以上に多くなってきている。
	百貨店（購買担当）	お客様の様子	・6月に入っても不安定な天候が続き、婦人服業界でも、気温が下がると本来売れなければいけないTシャツなどの動きがほとんどない。やっと暖かくなって、今度はセール待ちという客の動向が見受けられ、今月も厳しい状況は変わっていない。また、お中元も単価が低下し、食品も野菜の高騰でかなり厳しい傾向である。
	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・週末の売上、来客数は前年比をクリアしているが、平日の特に午後3時以降の売上、来客数が前年比9割を割り込む日が多くなっている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・今月はお中元ギフトの需要が順調に推移しており、1品の単価はあまり低下していないが、本業の食品の売上については、買上点数が前年比0.2ポイントダウンしており、単価アップのおかげで、なんとか現状の数字が維持できている。
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・今月は地方の商品を集めてキャンペーンを行ったが、客は価格の高い商品には手を出さないし、衝動買いもなく、消化率は非常に低かった。昨年と同様のキャンペーンを実施したが、昨年の方がかなり良い数字であった。
	家電量販店（予算担当）	お客様の様子	・6月は季節商材の動きが大きく影響をする月である。昨年は中旬から下旬にかけて気温が上昇したためエアコンや冷蔵庫などが良く売れたが、今年は雨の日が多く気温もまだ上がりきらないため、苦戦をしている。一方で乾燥機能付き洗濯機はよく動いており、映像商品も引き続き好調であり、生ゴミ処理機は関心のある客が多く、自治体から補助がある場合など決定率は高い。全体的に見て、消費意欲はおう盛であると思われるが、実売にまで至っていない状況である。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車業界の販売台数は、軽自動車を除き前年比マイナスで推移している。特に大きな車両を扱っている当社は苦戦を強いられている。依然として景気が良くなっているという感じは全くない。

		乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・販売量からみると前年を下回っている。また、軽四輪自動車の販売比率が高まっており、高額車の売行きが鈍っている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・受注台数において、前年比80%前後の大変厳しい状況である。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・エリア内での新車の総受注台数が、前年比80%前後で推移している。こういう状況は今年に入って初めてである。
		乗用車販売店 (サービス担当)	販売量の動き	・新車販売台数が前年に比べて60%しかなく、大変苦労している。
		自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・ナビゲーションの新製品が投入される月であるが、例年になく動きが良くなく若干懸念している。天候の影響もあるかと思われるので、次月の動きをみてみたい。
		タクシー運転手	来客数の動き	・22時以降の乗客が非常に減少していて、かなりマイナスになっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・6月は今年に入って初めて前年比マイナスとなりそうである。原因としては、雨が少なかったとか、サッカー観戦で夜の外出が少ないとかの短期的な要因が考えられる。店のママさん達からも予想外に売上が少ないという声を聞く。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前と比べ、販売量、来客数共にやや悪くなっている。
		テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・従前から6月は梅雨のため団体客も少なく、平日の来客数は伸びない時期であるが、今年は土日の来客数も減少している。集客イベントも天候が不安定であるため実施しにくいいため、全体的に低調であった。
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・客の購買意欲が感じられない。来街者数は多いが、アパレルのバーゲン前の下見で、実質の購買客は減少している。来客数、客の様子、単価すべて良くない。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・夏の季節物の動きが非常に悪い。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・降水量が平年の70%増しといった状況で夏物が全く振るわず、セールに入っても売上が上昇せず、特にサンダルは前年比85%で推移、店全体でも前年比95%の見込みである。
企業動向関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・在来機種との代替的な新製品ではなく、新しいコンセプトによる新製品がフル生産となり、その受注量分が純増となっている。
	やや良くなっている	非鉄金属製造業(経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・上海万博までは波がありながらも上向き景気が継続する。逆に言えば、そこまで回収できるような投資活動を各社行っている。
		一般機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・国内及び海外向けの自社製品の売上が、引き続き好調に推移している。
		電気機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連は国内・欧米・中国とも好調でフル操業の状況が続いている。携帯関連は基板・カメラとも春モデル終了したものの夏モデルも好調に推移している。エアコンは特に昨年の欧米の猛暑から、海外向け受注がピークとなっておりフル操業の様相を呈しており、新規社員募集も行ったが集まらないため時間外で対応している。
		建設業(総務担当)	取引先の様子	・設備投資意欲が感じられる取引先が多い。
変わらない	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、全般に高稼働率を維持している。物流費・原材料費高等の影響を受けながらも販売価格の上方修正等の影響で、利益が出ている。	
		窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず現状人員では対応できない量の注文があり、自社生産では納期に対応できないため、グループ会社に製造を委託した。
	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注は3か月前と同様に高水準であり、工場もフル生産である。ただし、銅など非鉄の原材料の値上がり、収益性を押し下げている。	

	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業務請負並びに派遣のクライアントの受注数はむしろ増加している状況である。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月に引き続き、受注量、受注価格ともに横ばいのままで推移しているが、石油を始めとする原材料、資材の価格は高止まりのままで、給与改定の影響や一時金の支払いなどコストアップの要因多く、採算的には非常に厳しい状況が続いている。	
	輸送業（統括）	受注量や販売量の動き	・6月はスポット業務が多数発生したため単月では良い月であった。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・運賃単価の低下傾向に歯止めが掛からない。	
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・法人向け通信サービスの受注状況は数的にはほそこ出ているが、ユーザ業種は偏り気味で、大型商品の割合も低いため、収益は期待値に至っていない。	
	通信業（支社長）	取引先の様子	・光電話の受注は好調であるが、その他の商品の売上は厳しい状況にあり、3か月前の状況と変わらない。	
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。原材料費の上昇分の製品価格への転嫁も進んでおり、収益面も改善傾向にある。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・当社はOEMの商品が多く、大口取引先の親会社が企業買収でどうなるかわからない状態で、今後の商品展開、発注受注もどうなるか不透明な状況である。	
	繊維工業（統括担当）	競争相手の様子	・同業で倒産した会社が1週間ほど前にあった。また、具合の悪い雰囲気の良い会社も2～3あるように聞いている。全体に苦しい状況が続いている。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き原材料の高騰や、顧客の在庫調整もあり、受注に今までのような勢いが感じられなくなってきている。自動車・電機メーカー等主要顧客の動向が懸念される。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内販売は依然低調であり、在庫調整を図らないといけない状況である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・一般的に売上が伸びていない。特に、製造・建設といった業種では、小さな物件はあるものの大口の物件がなかなか出てこない。たまにあって、大手に取られるか、コスト的に合わないケースが多い。3か月前と比べると事業主に活気が欠ける。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3か月前と比較すると、水揚数量で1079tの減少、水揚金額も1億2490万円の減少となった。水揚数量の減少原因は大中型巻き網船・イカ釣り船が減少したため、水揚金額の減少原因もイカ釣り船が減少したためである。	
	コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は3か月前と比べ減少している。	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	求人数の動き	・設備投資計画に伴う大量採用があり、また2007年問題による新卒採用意欲が高い。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・中途採用の企画についての問い合わせが増えている。また、新卒の合同説明会の参加社数が前年同月より増えている。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数の前年比増加傾向は続いている。新規高等学校卒業者対象求人も、前年に比較して増加している。また、この夏のUターン就職面接会への企業の参加問い合わせも増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・製造業など携帯電話関連の新商品を打ち出し、増産傾向にある。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		周辺企業の様子	・広告業界の中で取引のある企業を見ると、取引額は変わらず横ばい状態である。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・求人は医療機関から規模拡大に伴う大量求人があった他は、製造業・建設業が前年比で低調なために全体では横ばいで推移している。	
職業安定所（職員）		求人数の動き	・前月の新規求人数は16か月連続して、前年同月比で増加している。しかし、業種により格差があり、建設業・製造業では求人が増えていない。また、月間有効求職者数は、過去最高の数字となっている。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比及び3か月前に比べて減少している。ただし、新規学卒者を対象とした求人票の提出は、昨年にして好調である。
	民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・求職登録者の能力、スキルが低下傾向にある。人材紹介会社の認知度が向上したため幅広い層からの登録を受けようになったのかどうかは不明だが、正社員での経験が無い者、就業期間が1年程度の者など、これまでは登録していなかった層が目立ち始めた。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・地場では年商100億円強である大手企業の営業経験者の募集が「正社員」ではなく「契約社員」で採用したいとの意向であった。こうした現実から見て、企業が先行きやや慎重になっているようだ。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-